



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN  
**佐土原ロータリークラブ週報**

【臨機応変】(りんきおうへん)  
柔軟で適切な対処や対応を言う



Lend a Hand  
手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

【ロータリー雑誌月間】

第834回 平成16年 4月21日(水)

〔本日のプログラム〕

1. 食事
2. 点鐘
3. ロータリーソング  
「それでこそロータリー」
4. 四つのテスト唱和
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. フォーラム  
「ロータリー雑誌月間にあたって」
9. 点鐘

次回予告  
★ 4月28日(水)  
特別休会  
  
★ 5月5日(水)  
特別休会(休日)

佐土原ロータリークラブ  
例会日 毎週水曜日(12:30~13:30) 会長 中武 幹雄  
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 林 厚雄  
事務局 宮崎県佐土原町大字下郷河3887-17 幹事 梶田與之助  
☎880-0212 会計 岩切 正司  
TEL及びFAX 0985-73-7170 会報委員 池田 仁志

## 第833回例会記録

(2004. 4. 14)

### ☆会長の時間

会長 中武幹雄君

皆さん今日は。今日は第833回の例会です。本日のビジターを紹介致します。西都RCの岩切昇君と宮崎RC 内村時雄君のお二人です。ようこそ！

さて、先週は会員の「退会防止」対策について述べさせて頂きました。今日は「日本ロータリーの歴史」のページを開いてみました。

昭和16年12月7日、日本軍が真珠湾を空爆した約1年前の昭和15年9月、日満ロータリー連合会は国際ロータリー(RI)から離脱を決議した。当時のクラブ数は48RC(会員37、社員11)会員数は2142名でした。大戦後、昭和24年日本ロータリーがRIに復帰するまで、19のクラブは例会の開催日に因み、木曜会・水曜会・同心会・同人会などの名称で継続をしていました。ジョージ・ミーンズ氏がRI中央アジア駐在員として東京のロータリー復帰協議会に訪れ、日本の元ロータリーの現状を見るために来日し、復帰には努力するが「認証される迄はロータリー」という名称は歯車の徽章の使用は慎むようにと告げ、空路アメリカへ帰っていました。昭和23年復帰の希望も空しく暮れ、翌昭和24年3月11日、待ちに待った日がやって来たのです。それは何の前ぶれもなく羽田に飛来したジョージ・ミーンズ氏は、先ずダーキンと連絡を取り、当時、小松隆に代わってロータリー復帰協議会会長になっていた、手島知健と面談し、又東京水曜クラブの役員とも会見、いよいよRIへの登録可能になった旨を告げたのでした。(ラセラ・ダーキンは昭和23年12月、GHQに赴してくるとすぐ東京クラブに入会、勧請は東京RCの会員)そして、RI復帰には3つの条件がありました。

1. 現在の各曜会、各曜クラブを解散する事。
2. RI定款細則を厳守する事。
3. RIへの義務を完全に履行する事。

以上3ヵ条を告げられたのでした。

尚、各クラブはそれぞれRIに直結するもので戦前の様に日本クラブだけが一つに固まる事のないように、と注意がつけられていたのです。かくして昭和24年3月23日、東京仮ロータリークラブが出来、小林雅一が会長となり、3月29日旧の登録番号と同じ855で再登録されたのでした。聞くところによると、RIでは初め6つのクラブを認証する事になっていたが、京都・神戸のいずれかを選択しなくてはならなかったのですが、ミーンズ氏の配慮で双方を取り入れ、次の順序で7クラブが揃って復活し、誕生したのです。3月29日は東京4月5日京都・大阪・名古屋・神戸は4月13日、そして福岡が4月22日、最後に札幌が5月2日でした。この7クラブで第60地区を形成する事になり、初代ガバナーは東京クラブに一任され、東京クラブの「手島知健氏」が選出されたのでした。そして彼はRIの国際会議に出席するため、6月1日羽田を飛び立った時、この度のロータリー復活を「新日本における最も幸福な出来事」であると言ったそうです。それは、国際社会から閉め出されている事がいかに耐え難い刑罰であるかを、身をもって経験し、再び国際社会の仲間入りする事が、どんな意味を持つか国民がはっきりと知ったからであり、ロータリーの与える知識は世界の知識であり、その奉仕は世界への奉仕あるからでした。東京クラブは4月27日の例会で伝達式を行い、ミーンズ氏から小林雅一会長にチャーターが手渡されました。その伝達式には吉田茂首相が出席され、祝辞を述べられています。GHQ総司令官マッカーサー元帥は東京クラブの名誉会員を受諾する事を光栄であると書かれているそうです。そして時は過ぎ、ロータリー財団奨学生制度が始められたのが昭和22年のサンフランシスコ国際大会でした。財団奨学生として日本からアメリカへ留学する第1号は清水長一が紹介されました。昭和22年の1月に亡くなったボーラ・ハリスを記念して始められたと言う事だそうです。因に、私が生まれた年月の2ヵ月

後の事でした。又、かねてから要望されていた地区の分割について、RIから12月3日入電があり、昭和27年7月1日から実施する事が決定された。そして年次大会で日本のロータリーの净化を呼び、「奉仕こそ我がつとめ」さらに一步進み、人生は奉仕、奉仕のための人生でなければならないと星野ガバナーが告辞されたと言う事でした。その時、ロータリーソング「手に手つないで・ロータリー賛歌今日も楽しく・喜び分かつ」が発表されました。そして、この大会で、日本の機関紙が発行する事が決まり、昭和28年1月から「ロータリーの友」が毎月発行の運びとなったのです。以上「ロータリー日本50年史」より抜粋してご案内致しました。

#### ロータリー理解クイズ

Q26 地区ガバナーになる為には、クラブ会長を務めなければならないのか？

A 本當です。

Q27 RI規定により義務付けられている、会員の例会出席率は何%ですか？

A 60%です。

Q28 各ロータリーの名称、会長、幹事名、例会日時と場所などのリストが掲載されているRIから毎年発行されている出版物は何？（日本でそれに似たものはありますか？）

A はいあります。（公式名簿 ロータリーの友事務所から出版）「全日本ロータリークラブ会員名簿」です。

Q29 ロータリーで最初のサイバークラブの名前は？

A 第5450地区のロータリー-e クラブワン この事については次回の例会にて案内します。

Q30 世界理解月間は何月？

A 2月です。 以上

With this chairman time it finishes  
See you again next week thank you

#### ☆幹事報告

幹事 梶田 輿之助 君

#### 1. 例会変更通知

1. 4月30日（金）の例会は特別休会

5月7日（金）は新会員歓迎会のため、

時間 18:00

場所 杉ヶリゾート に変更

宮崎西 RC

#### ☆出席報告

委員長 後藤 明夫 君

会員数	28名
例会出席者	21名
出席率	75%
メーティング数	3名
修正出席率	86%
欠席者名	鷹瀬 雄太

#### ☆15周年記念誌発行委員会

委員長 吉田 康一郎 君

本日の例会後、最後になると思いますが、15周年の記念誌発行についてお話し合いを致したいと思います。関係の方々の出席をお願い致します。

♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡  
Happy Voice

誕生日を祝して頂いて、本当に有り難うございました。

佐土原ロータリークラブの益々のご発展を祈念致します。

濱田 操

♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡

## ☆会員卓話

田 村 勝 二 君

1年に1回の卓話が巡って参りました。卓話は自分の職業についての話題が良いのではとの事ですので、お酒についてお話を致したいと思います。

私の業界誌である「醸界タイムス」の中から抜粋しましてお伝えいたします。

只今、焼酎乙類が勢いが止まらない位の消費拡大になっております。

日本酒造組合中央会が集計した今年2月の全国焼酎乙類課税移出量(税)は37,000kℓで、前年の32,600kℓに比べ13%の大幅伸長を続けておるとの事。主産地の九州7県と沖縄県の出荷状況は、宮崎県の8.8%増以外は何れも2桁の伸長で、中でも芋焼酎の主産地の鹿児島県は、前年比37%の増加の盛況。

今年1~2月累計出荷状況は約66,000kℓで、前年同期に比し、18%の大幅増と、本格焼酎の需要拡大の傾向は留まるところを知らない様です。特に芋焼酎は前年に比べ、51%の激増。米、麦、そば、酒粕など、全ての原料が前年比で2桁の伸びが続いているようです。

平成16年2月の焼酎(税)主産地出荷状況

県別	平成16年	平成15年	前年比(%)
綿	2,544.5	2,278.9	+ 111.7
佐賀	306.4	162.2	+ 188.9
長崎	300.3	255.4	+ 117.6
熊本	2,415.8	2,114.6	+ 114.2
大分	10,424	9,595.9	+ 108.6
鹿児島	9,404.9	6,857.4	+ 137.1
宮崎	6,947.6	6,387.4	+ 108.8
沖縄	2,354.1	1,912.7	+ 123.1
計	34,697.8	29,564.5	+ 117.4
全国合計	36,906.0	31,197.7	+ 118.3

(単位: kℓ)

### ★焼酎で健康

①血管の中には血液を固める「凝固因子」と血液を溶かす「線溶因子」が存在。血液がスムーズに流れる為に重要となるのは、勿論線溶因子。中高年に心筋梗塞や脳梗塞が多いのは、線溶因子の働きが弱まり、血栓と言う血の塊が出来易くなるからです。ある研究で、適度のアルコールが血栓予防の効果があることが分かりました。線溶因子に当たる血中の血栓溶解酵素が酒類によって活性化されるのです。

②「アルコールで血栓性の病気を予防出来る」…この話を深く掘り下げてみましょう。一定量のアルコールを飲んだ人の血液から、血栓溶解酵素を分離して、その量と活性を測定します。結果は下記の様になっております。

酒を飲んでいない人…	478 (範囲)
焼酎を飲んだ人…	1160 mmolp
日本酒を飲んだ人…	855 NA/dl
ワインを飲んだ人…	801 (範囲)
ビールを飲んだ人…	712
ウイスキーを飲んだ人…	510

これで酒を飲まなかった人に比べ、飲んだ人の酵素の活性はより高いと言う事が分かります。中でも焼酎は他をさしあいてダントツに強い効果を発揮しています。それに、同じ焼酎でも、芋、そば、麦などを原料とする乙類焼酎と、純エタノールに近い甲類焼酎とでは、前者の方が特に強く作用する、と言う結果も得られております。酵素の活性化は、アルコールその物よりも、本格焼酎が持つ独特の成分による所が大きいと考えられます。

他にもお伝えする事が沢山ありますが、紙面の都合上、又の機会に致したいと思います。この焼酎ブームも、昨夜のバラエティ番組で、或るお笑いタレントが黒霧島焼酎を偉く気に入った言葉を発してからが、きっかけになったのでは、思っております。マスコミの力は偉大だとつくづく感じております。